

吉川市議会議員

# 安田真也 活動レポート

市議会議員 安田真也事務所

〒342-0038 吉川市美南4-25-43

TEL:048-945-0946 E-mail:shinya-yasuda@hotmail.co.jp



討議資料

## 対談 安田真也 × とばり胤茂 吉川市長「まっすぐ 愚直に 今後を語る。」

1月19日、戸張市長と対談を行いました。その一部を掲載いたします

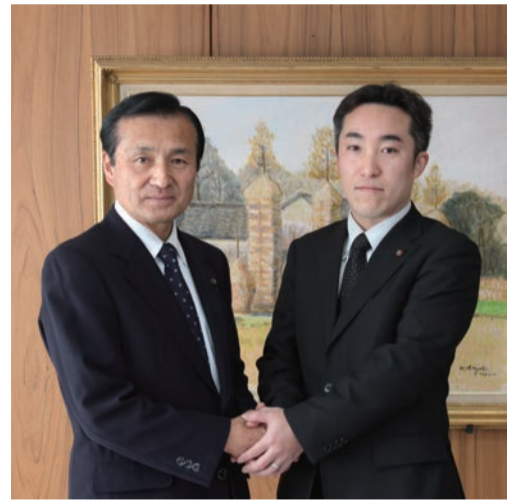
安田真也（以下 安田）：本日は貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。  
今日は市長に今後の方針や、今思うところをお聞きしたく存じます。また、市民の皆さんが疑問に思っていることや、ちまたで色々な情報が飛びかっていますが、その点についてもお話を伺えればと思っています。よろしくお願いします。

とばり胤茂市長（以下 とばり）：短い時間では伝えきれない部分や、市長として公職にある以上、言えない部分もあるかとは思いますが、できる限り答えていきたいと思っています。こちらこそ、よろしくお願いします。

安田：まず、昨年の議会で話題となった内容からお聞きしたいと思いますが、議会の中では「住宅リフォーム助成制度」、「小中学校普通教室へのエアコン設置」、などについて実施にむけて前向きな発言がありました。その点についてお聞かせください。

とばり：「住宅リフォーム助成制度」については、市民の皆様の良好な住環境の向上を支援することや、地元建築関係業者の受注機会の拡大が図れることから、平成27年度から取り組んでいきたいと思っています。「小中学校普通教室へのエアコン設置」については、子供達の健康への配慮や学習に集中できる環境を整備するため、エアコン設置に向けた準備を進めていきます。

安田：ありがとうございます。市内には美南地区のように新築戸建が増えているところもありますが、大多数は築年数が経った家屋です。また、高齢化に伴いバリアフリー化をしたり、生活スタイルに合わせて使い勝手のよい仕様にしたりするなど、住宅改築をしたいという希望も多いと聞きます。そのような中でリフォーム助成はありがたいですね。また、エアコン設置についても近年の高温により学習環境が良いとは言えない状況になっています。ぜひ、よろしくお願いします。



## ・・・まもなく市長任期終了、今後の思い・・・

安田：市長任期は今年の3月6日となっています。任期満了に伴う市長選挙は2月15日告示です。戸張市長は先の9月議会、私の一般質問にて今後の想いを語られました。新聞紙上でもその内容が取り上げられ、「戸張市長 5選へ出馬表明」との記事が立ちました。再度、市民の皆様へメッセージがありましたらお願いします。

とばり：私は、少子高齢化が進む社会の中で一貫して子ども医療費の無償化や民間保育所の開設などの子育て支援を進めてきました。さらに、安心安全の面では防災対策の徹底や小中学校の耐震大規模改修等を100%達成しました。また、長寿社会においては介護予防事業やインフルエンザ・肺炎球菌予防接種の補助事業などを推進しました。都市基盤では、三郷吉川線の開通や吉川美南駅の開業などを着実に推進しました。その成果が、将来にわたり人口が増加し続ける自治体として全国で15自治体しかないうちのひとつに入っています。私はこのまちづくりの流れをさらに市民の皆様と共に進めて「住みよさ日本一」を目指していきたいと思っています。

安田：9月議会の活動報告レポートにも書きましたが、吉川市が「子育てに優しい街」、「子育てするなら吉川市」というブランドに育っていることは「住みよさ日本一」を目指す戸張市長の数多くある実績の一つであると思っています。この良い流れは変えずに、継続していただきたいですね。

## ・・・南部地域に中学校建設・・・

とばり：ありがとうございます。そうですね。この流れを消さないために市民の皆様と共に前に向かっていきたいと思っています。安田議員の地元（美南）には若い世帯が多く転入していますが、街の雰囲気はどうか。

安田：おかげさまで、子供たちの声が聞こえる活力ある街になってきましたね。また、新しいお宅が多いのですが、落ち着きのある地区だと思います。市長をはじめ、職員の皆様にもいろいろな要望に対応していただきましていつも感謝しています。先日も、要望のあった箇所に新規でLED街路灯を設置していただいたり、路盤が弱くなった道路の補修をしていただきました。4月には定員60名規模の保育所が美南4丁目に開所の予定です。ますます期待が持てます。ところで、私がかねてより主張している美南地区での中学校建設について市長はいかがお考えですか。



とばり：美南地区では大規模なマンションや戸建て住宅の建設が進んでおり、今後も人口が増加を続け、近い将来、新たな中学校が必要となる可能性が高いと思います。用地についてはすでに確保してありますが、校舎や体育館などの建築にも多額の費用が必要となりますので、建設にあたっては国や県からの補助金などを少しでも多く獲得して、市民の皆様負担を軽くしなければなりません。そのため、生徒数の動きを注意深く見極め、市にとって最も有利な条件で建設できるよう準備をしていきたいと思っています。

安田：美南地区に接した三郷団地の中には小中学校が複数ありますが、中には閉校になった学校もあります。需給予測を立てしっかりと吟味する必要がありますね。中曽根小学区・美南小学区のお父さん、お母さんからも要望が多い事業ですので、ぜひ、建設必要と判断した際には早期に中学校建設をお願いします。

## ・・・市の財政は危ない？新庁舎建設はムダ？・・・

安田：市の財政が危ないから、庁舎建設はムダだという声や、美南駅東口開発はムダではないかという声が聞かれます。直接お話しする機会があれば私も違うよと言って理解をしていただけるのですが、本当のところどうなのでしょう。



とばり：平成25年度3月末の市債（借金に相当）残高は一般会計では約150億円で、市民一人当たりになると約22万円です。市債残高は自治体の規模によっても違うので通常は残高総額ではなく、財政指標と呼ばれる数値で健全度を判断しています。平成25年度の吉川市実質公債費率は5.3%で、県平均は6.1%、平成24年度ではありますが全国平均は9.2%と国・県を下回っています。この数値から**全国的に見ても、極めて健全性の高い行政運営を行っている自治体の一つ**であることがお分かりいただけると思います。市債は市の借金のことを言います。借金というと聞こえが悪いかもしれませんが、市債には重要な役割があります。数十年と使い続ける学校や道路などの公共施設については整備に多額の費用がかかりますが、建設時に借金をして少しずつ返済していく、また、先々の整備のために少しずつ貯金をするといった工夫により、特定の世代に負担が集中しないようにしています。先の見通しを立てて、計画的に物事を進めていくことが必要という点では行政も家計も同じなのです。**庁舎については、豪華さや必要以上の大きさは必要ない**と考えますが、災害時に対策本部として市民の安心安全の生活を守る機能と耐震性、使い勝手の良さ、障がいをお持ちの方や高齢者へのバリアフリーの配慮も必要と考えます。以前より耐震性が低いことが言われていましたが、東日本大震災が発生した時には特に危険な状況にありました。そこで有識者や市民の皆さんからなる検討委員会や、市民の皆さんから意見をいただくパブリックコメントを実施するなどして、建設に向けた準備を進めてきました。しかしながら、復興事業の本格化やオリンピック準備により労務単価や建築資材の高騰などにより、基本設計時点での建設費は当初試算した建設費の予想を大きく上回りました。現在、実施設計の中で削れるものは極力削り、工事費を圧縮する努力を進めています。**最終的な事業費が出た段階で、その時点の社会状況も踏まえて実施か延期かを判断していきます。**

## ・・・美南駅東口開発について・・・

とばり：東口開発については、駅周辺を放置すると乱開発となり、後に手を付けられない状態になります。事業実施には減歩率50%にもかかわらず、**地権者85%の賛成**をいただいております。そして大型商業施設や病院、優良企業等の誘致も積極的に取り組んで参ります。財政面においては、この区画整理予定地約60ha農地の固定資産税は、現在、年間100万円未満ですが、市街化に編入すると固定資産税と都市計画税で約5億円の歳入が見込まれますので、**大きな財政効果**も生まれます。安田議員が常々おっしゃる通り、将来にわたり吉川市の発展を左右する重要な事業なのです。また現在、市街化編入について**農水省との調整も最終段階**まで進んでいます。決してムダではないですね。

安田：私は岩手出身ですので東日本大震災では父親も被災しました。また、発災後沿岸部を見て回りましたが、庁舎が骨組だけになっているところや、本庁舎が地震により倒壊し、役所機能を民間の建物の中に移した自治体も見ました。やはり防災拠点・指示を出せる拠点として頑丈な庁舎が必要です。この点は多くの市民の方もご理解いただけていると思います。東口開発に関しても、土地所有している方々の理解を得ることが第一です。私有地ですので、自由に好きなものを作れるという類のものではありません。夢を見せるだけ見せて、何も出来ないのは詐欺と一緒にです。

## ・・・「住みよさ日本一」に向けて・・・

安田：今後、「住みよさ日本一」に向けてどのような点に力を入れたいですか。

とばり：少子高齢化社会に向けて**さらなる子育て支援の充実**を進めてまいります。対策としては保育所待機児童ゼロ、学童保育を6年生まで拡大、健康長寿への取り組みがあげられます。また健康長寿のまちづくりを目指すため特定健診率向上による生活習慣病予防、地域サロンや健康体操などへの参加で健康マイレージポイント事業の実施等を検討しております。

## ・・・市長はもっと情報発信を！！・・・



安田：本日はお忙しい中、ありがとうございました。政治は口先や夢物語を語るだけでなく、それをいかに実行するか。その実行部分に重きを置くべきと考えます。特に吉川市は、全国自治体からも視察が来るほど先進的な事業を多数こなっています。政治的パフォーマンスに愛想をつかしている市民が多くいらっしゃる中ではありますが、申し訳ありませんが、**戸張市長は職人気質**と言いますが、実績や、やりたいことをアピールすることが苦手なように思います。やってもないことをやったと言うのはいけないことですが、やったことはしっかりとアピールして、市民の方に理解していただくべきだと思います。

とばり：そうですね。市が実施してきた事業や実績あるいは今後の計画などを包み隠さず事実として各種イベントでの挨拶や広報、ホームページなどを利用して市民のみなさまに広く情報をお伝えしております。今後においても**積極的に事実を発信**してまいります。

安田：どんどん情報発信してください。「灯台もと暗し」と言いますが、日頃から当たり前のように接していれば接しているほど、良い部分は見えなくなり、隣の芝生が青く見えるようになりますからね。本日は、本当にありがとうございました。

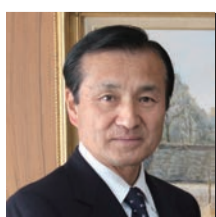
## 対談を終えて

戸張市長はまさに職人気質だ。自分を大きく見せたりしない。市長は農業をされているが、その愚直さや真っ直ぐさ、慈しみ育てる性格が職人気質の源泉なのか。派手なパフォーマンスは絶対にしないが、確実に仕事をこなす。時にはいじらしくなるほど思慮深くなるが、前には進む。「怠らず 行かば千里の 果ても見ん 牛の歩みの よし遅くとも」。私の好きな言葉だが、戸張市長にぴったり当てはまる。

政治家は選挙という洗礼を受けるが、決して人気投票であってはいけない。政治家は芸能人ではない。安易な選択で間違いをおこした場合、誰が責任を負うのか。ましてや、「誰でもいいから」や、「もう飽きた」ではお話にならない。

リーダーは前進あるのみ。ただ前を向いて引っ張っていく。山もあるだろう、谷もあるだろう。信じた道を進むのだ。しかし進めるか進めないかのバクチではなく、堅実・着実に進めていく。

戸張市長には期待している。私には「未来への責任。」があるから。



吉川市長 とばり胤茂

昭和22年 吉川市生まれ  
町議・市議会議員を経て吉川市長  
「住みよさ日本一を目指して」



市議会議員 安田真也

昭和54年 岩手県花巻市生まれ  
代議士秘書・会社員を経て市議会議員  
「未来への責任。」